

2018年10月29日から2018年11月4日に当院小児科に受診もしくは入院された 気管支喘息の患者さんおよびそのご家族の方へ

研究課題の公開について

川崎医科大学附属病院小児科では、下記の多施設共同研究に情報の提供をしています。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究にカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

【研究課題名】 小児喘息重症度分布と治療の経年推移に関する多施設調査

【研究責任者】 東京都立小児総合医療センター アレルギー科 赤澤 晃

1. 研究の対象

2018年10月29日から2018年11月4日の期間に、川崎医科大学附属病院小児科に受診もしくは入院された気管支喘息の患者さん

2. 研究目的・方法

<目的>

小児気管支喘息はこの20年間で大きく変化した小児慢性疾患の一つです。喘息発作死や救急外来受診、緊急入院、長期入院患者数は全て減少し、治療の主な場は入院治療から外来治療に移行しました。こうした背景には、有効な治療薬の開発と治療管理ガイドラインの普及が大きいことが世界的に評価されています。日本小児アレルギー疫学委員会では、経年的に小児気管支喘息患者の重症度や治療内容について調査して、よりよい診療活動を検討していくことを目的として、2006年から本調査を行っており、当院も調査に参加しています。

<方法>

対象となる患者さんについて、患者背景や、喘息の発作頻度、長期管理の内容、過去1ヶ月間の気管支喘息治療の内容について検討します。研究期間は、2018年10月29日から2019年3月31日です。研究に利用する情報には個人情報が含まれますが、お名前、住所など、個人を直ちに判別出来る情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結びつける対応表を当院の個人情報管理者が作成し、研究参加への同意の取り消し、診療情報との照合などの目的に利用します。対応表を含む情報は、当院の個人情報管理者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。研究に関するデータは、発表から5年間保管した後に廃棄します。

3. 研究に用いる情報の種類

検体：該当なし

カルテ情報：年齢、治療場所(外来あるいは入院)、性別、発作頻度、長期管理の治療ステップ、過去1か月のテオフィリン経口投与・長時間作用型 $\beta 2$ 刺激薬・経口ステロイド投与・吸入ステロイド・ロイコトリエン受容体拮抗薬の使用状況

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

川崎医科大学附属病院 小児科 医師 若林尚子

TEL 086-462-1111(代表) FAX 086-462-7897

E-mail : shoko.i@med.kawasaki-m.ac.jp

5. 利益相反

本研究は資金を必要としておりません。また、結果に影響を及ぼしかねない資金の受け入れおよび使用はありません。この内容を利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。